

第37回大会

中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会



- 期 日 平成30年5月19日(土)～20日(日)
- 会 場 福岡県立社会教育総合センター
- 主 催 福岡県教育委員会
日本生涯教育学会九州支部
- 主 管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会
第37回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター

テーマ 「人生100年時代を豊かに生きるための学び支援」 ～学んで・鍛えて・ボランティア～

世界保健機関2016年によると、日本の「健康寿命」は74.9歳で世界1位です。また、平均寿命は男性が81歳、女性が87歳（厚生労働省2016年）です。さらに、海外の研究によると「日本では、2007年に生まれた子供の半数が107歳より長く生きる」との推計が「人生100年時代構想会議中間報告（平成29年12月）」に紹介されています。まさに、「超長寿社会」を迎える我が国は、人生100年時代を見据えた「人生の再設計」・「社会保障制度の再設計」等が必要になり、それに伴い急激な変革の波が押し寄せてくることが予想されます。

国では「人生100年時代構想会議」を設け、「100年という長い期間をより充実したものとするためには、生涯にわたる学習が重要である。」等とし、「人づくり革命」として「幼児教育の無償化」「教育の効果と高等教育の無償化」「リカレント教育」「大学改革」等を提言しています。

このような中で、「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」は「未来の必要」を掲げ、各県の実行委員の皆様との連携・協働により地域の課題解決実践事例等を発表・提言し続けて参りました。この会の注目は、参加者「手弁当方式」の会費制の運営にあります。また、実践者本人が、その活動事例を直接発表し交流できるところです。

第37回大会も、各県の「熱き思い」の実行委員会の皆様との「連携・協働」により28の実践研究事例が揃いました。また、三浦清一郎先生の特別報告は「老いてひとりを生き抜く 一暮らしに負けず、自分に負けず、世間に負けず一」で、超長寿社会の我が国を見据えた報告です。特別企画：「男女共同参画時代の子どもの発達支援」は、第1部：「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性として、飯塚市の片峯誠市長・森本精造元教育長、三浦先生によるインタビューダイアログ、第2部は、「通学合宿」のモデルである「庄内生活体験学校」の開設30周年の分析から「通学合宿」の30年を振り返るを探ります。登壇は、正平辰男（庄内生活体験学校館長）、大島まな（九州女子大教授）、小生によるインタビューダイアログを実施します。ご期待ください。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第37回大会 実行委員

田中 恒治(鳥取県)鳥取県教育委員会事務局社会教育課	本村由紀博(熊本県)熊本県宇城市立豊野小学校
原田 尚(島根県)島根県浜田市立雲城小学校	三角 幸三(熊本県)熊本県宇城市教育委員会 中央公民館
渋谷 秀文(島根県)島根県益田市立西益田小学校	岡田 正彦(大分県)国立大学法人 大分大学
吉岡 康行(広島県)広島県教育委員会生涯学習課	竹内 一久(宮崎県)宮崎市立江平小学校
正留 律雄(広島県)広島県大野子ども体験活動・ボランティア活動支援センター	佐藤健一郎(宮崎県)宮崎県教育委員会生涯学習課
福原 洋子(岡山県)前岡山県教育庁義務教育課	矢括 尚義(宮崎県)宮崎県教育委員会生涯学習課
東川 絵葉(岡山県)岡山県教育庁生涯学習課	田畠 悦子(鹿児島県)鹿児島県立青少年研修センター
赤田 博夫(山口県)山口県宇部市教育委員会(社会教育委員)	大山 涼子(鹿児島県)かごしま県民大学中央センター
矢田部敏夫(山口県)山口県防府市立野島小中学校	鶴木 孝夫(鹿児島県)鹿児島県始良市教育委員会
坂井 孝吏(高知県)高知県黒潮町立大方中学校	竹添 辰也(鹿児島県)社会福祉法人泉心会 竹之迫保育園
宮川 貴史(高知県)高知県文化スポーツ部スポーツ課	大城喜江子(沖縄県)沖縄県浦添市立森の子児童センター
高木 義夫(高知県)NPO高知県生涯学習支援センター	古市 勝也(福岡県)九州共立大学
和田 瑞穂(愛媛県)愛媛県松山市立拓南中学校	谷本 理佐(福岡県)福岡県教育庁教育振興部社会教育課
馬場祐次朗(徳島県)一般社団法人 全国社会教育委員連合	原 正彦(福岡県)福岡県立社会教育総合センター
関 弘紹(佐賀県)前佐賀県県民環境部まなび課	森本 精造(福岡県)(一財)サンビレッジ茜
林口 彰(佐賀県)元(財)孔子の里	正平 辰男(福岡県)飯塚市庄内生活体験学校
紫園 来未(佐賀県)オフィス しおん	三浦清一郎(福岡県)月刊生涯学習通信「風の便り」編集長
鴻上 哲也(佐賀県)佐賀県伊万里市立大坪小学校	大島 まな(福岡県)九州女子大学
山本 圭介(長崎県)長崎県西海市立西彼中学校	山田 明(福岡県)九州共立大学
武次 寛(長崎県)長崎県社会教育支援 草社の会	

Time Schedule 1st day 5.19 Sat.

9:30	10:15	10:45	12:30	13:00
受付	開会式	実践発表.1	昼食	受付
玄関ロビー	2F 講堂	第1会場:2F 第4研修室 第2会場:2F 自由研修室 第3会場:4F 視聴覚室 第4会場:4F 大研修室	玄関ロビー	

13:30	16:10	16:30	17:00	17:30	20:00
実践発表.2	移動	特別報告 老いてひとりを生き抜く 一暮らしに負けず、 自分に負けず、 世間に負けず— 報告者 三浦 清一郎 (2F 講堂) フリータイム			第37回大会交流会 (2F 体育館)
第1会場:2F 第4研修室 第2会場:2F 自由研修室 第3会場:4F 視聴覚室 第4会場:4F 大研修室					



■日時：1日目の夜 17：30～ ■場所：2F 体育館

「実践研究交流会は、実践事例の発表がメインなのか、交流会がメインなのか？」と問われるくらい、毎年、毎年大盛況の交流会です。ちょっと緊張気味だった参加者の皆さんが、料理をほおぼり、地酒を酌み交わして、「お国自慢」をし、「村おこし」の苦労を話し合い、「人づくり」の楽しみを語り合います。その熱気に、人々の顔は真っ赤、会場は熱気ムンムン！今年も、全館貸し切りです。どうぞ心おきなく、お楽しみ下さい。

なお、オークションの売り上げは次年度の運営費の一部とさせていただきますので、御了承下さい。

Time Schedule 2nd day 5.20 Sun.

8:30	9:00	11:30	12:00
受付	特別企画「男女共同参画時代の子どもの発達支援」 〈インタビュー・ダイアログ〉 第1部「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性 登壇者：飯塚市長 片峯 誠 元飯塚市教育委員会教育長 森本 精造 聞き手：三浦 清一郎 第2部「通学合宿」の30年を振り返る 登壇者：飯塚市庄内生活体験学校 館長 正平 辰男 聞き手：古市 勝也 大島 まな	総括 閉会式	昼食
玄関ロビー	2F 講堂	2F 講堂	



■日時：5月19日・20日 ■場所：1F 交流ホール

大会開催中、参加者の皆さんが携わられている「まちづくり」や「人づくり」のイベントのポスターを掲示しています。どうぞ、ご覧下さい。



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／廣瀬 友治 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事
神河 武彦 福岡県教育庁北九州教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 大人としゃべり場 ～トークフォークダンスで語ろう～

10:50~11:20

戸島 教明(福岡県直方市) 直方第一中学校 PTA会長
宮園祐美子(福岡県直方市) 直方第一中学校 PTA副会長
宇野 紀子(福岡県直方市) 直方第一中学校 元PTA副会長(のおがた未来カフェ)
花田 義朗(福岡県直方市) 直方第一中学校 教頭

包容力のある大人が、中学生の意見や考えを肯定的に聞くことで、生徒達に自己有用感や自己肯定感を身につけさせることができる。市民グループ「のおがた未来カフェ」の協力によりPTAの行事として開催している。フォークダンスのように次々と相手を変えながら、子どもと大人が1対1で、日常の様々なテーマについて語り合う取組で、今年の9月で6回目になる。毎回体育館に200名以上の大人が集まり、保護者だけでなく、ネットを通じて九州圏内だけでなく関東からの参加もある。「反抗期の子どもだから、話しにくいのかと思いました、全くそんな感じではなく素直で可愛らしいなと思いました。」という大人の感想があった。

2 地元農家の主婦力による「農家れすとらん つつじ亭」の開業とその知恵 11:25~11:55

守永 和子(山口県萩市明木) (有)農家れすとらん つつじ亭／明木(あきらぎ)手芸を楽しむ会 代表

平成16年4月、常設の農産物加工販売所「つつじ」の開設にあたり、地元の主婦たちが農産物の販売だけでは物足りないと考え、手芸品販売のほか、郷土料理の紹介や販売活動の実績をもとに有限会社を設立、「つつじ」内のテナントとして「農家れすとらん つつじ亭」を開業。この山間地には楽しい宝があることに気づき、かずらのかご、草木染め、木工細工、子ども達とのカカシづくりと違った形、方向で成果を出している。また、地場産品を生かした食の開発に取り組み、山口食彩店として登録されている。

3 地域住民力の活用実例がここにある! ～おせっかいおばちゃんたちと行政のおいしい関係～

12:00~12:30

安永 友紀(長崎県川棚町) 川棚町健康推進課健康増進班 係長

おばちゃんパワーを中心とした地域住民力を活かした地域活性化の事例である。行政地域へ情報を発信し、目的を共有することでそれぞれの役割を確認。住民が主役となるような仕掛けづくりや活動の場を提供している。まさにおせっかいおばさまたちと行政のおいしい関係の構築である。数々の取り組みの中でも、自閉症や発達障害啓発イベント「ブルーライトinかわたな」や世界エイズデー啓発イベント「赤を身に着けて集まろう! レッドリボンデー」などは、おばちゃんパワーが光ったイベントである。地域住民が自ら発信することで、町全体がイベントのもつ意味を知り、知識や理解を深める機会となる。そこには、自然と地域住民がもたらす主体性が生まれ、さらに、人材育成へつながる喜びがある。



第2会場●2F 自由研修室

■司 会／榎園 成人 鹿児島県始良市西始良校区子ども会育成会 代表理事
大河内哲子 北九州市八幡東区女性団体連絡会議 会長

分科会の進め方

10:45~10:50

1 手づくりの絵本と歌で伝えよう ～手づくり絵本に願いを込めて～

10:50~11:20

しまだ ようこ(鳥取県境港市) 境港市立上道小学校図書館職員／絵本作家・シンガーソングライター

発表者は、小学校の図書館職員、絵本作家、シンガーソングライター、そして子育て中と日々奮闘中である。その子育てや日常生活の中での気づきを“手づくり絵本”の形にして読み聞かせをし、オリジナルソングを創作してミニライブの活動なども行っている。絵本は子どもだけのものではなく、大人にも伝わるものが多いという。自作の絵本や歌を通しての活動に、子育てや子育て支援にかかわる関係者の関心が高まっている。

2 子どもの「自立」をめざして ～家庭教育力向上への新たな試み～

11:25~11:55

宇井 知隆(鹿児島県始良市) 始良市教育委員会社会教育課 課長補佐兼係長

平成25年4月、始良市では「社会全体による協働の子育て・人づくりを進め、自立する子どもの育成」を目指し、子育て基本条例を制定。家庭、学校、地域社会、事業者及び市の役割と責任を明確に示した。これに基づく市の取組として、母子手帳に引き続く教育のハウツー本「子育て手帳」の作成、コミュニティFMを用いた家庭教育ラジオ番組の放送(30分×年13回)、「家庭教育フェスティバル」の開催等、家庭、学校、地域社会及び事業者に対する啓発や支援に努めている。取組を推進するため、家庭教育推進委員会(公募委員を含め15人)及び市内連絡会議(市職員10人)を設置している。

3 地域の人材多数が結集する姿が見えてきた ～チャレンジ通学キャンプの11年～

12:00~12:30

上野 祥子(熊本県熊本市) UEKI・レクリエーション協会 会長

平成18年9月から始めたチャレンジ通学キャンプが11年続く。実行委員会とUEKI・レクリエーション協会が主催する。菱形小学校(11学級)の児童が参加する。「親元を離れて行う集団生活」を通して「自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力」を養うことを目指している。宿泊場所は熊本市菱形地域コミュニティセンターを利用している。通学キャンプ1期生がスタッフとして活躍したり、以前参加したことのある保護者や菱形小学校の元校長先生の参加を得たりと大きく深く成長しつつある。この狭い菱形地区でも地域のつながりは薄くなってきており、横の絆を強く保てるような取り組みが必要になってきている。



第3会場●4F 視聴覚室

■司 会／田中 孝雄 鹿児島県出水市教育委員会生涯学習課 参事兼指導主事
赤峯 友子 大分市川添校区公民館 公民館主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 より身近に、誰でもコンビニ感覚で立ち寄れる公民館をめざして ～人的ネットワークの拡大と情報発信の挑戦～

10:50~11:20

吉岡 理恵(長崎県諫早市) 諫早市教育委員会生涯学習課 本野公民館 社会教育指導員

より身近な市民目線での公民館づくりに貢献したいと平成28年度より社会教育指導員として活動している。ホームページやfacebookを立ち上げ、公民館講座や講師、図書室の本紹介はもちろん、地域の行事や小学校・保育園の話題などを含めた地域情報も頻繁に発信している。また、館内を居心地のよい空間にするための環境整備にも力を入れている。特に若い世代の参加を促すことを意図した講座を積極的に企画、問い合わせや新しい受講者も増えている。

2 コーヒー一杯で学習を ～むなかた市民学習ネットワーク33年の歩み～

11:25~11:55

東 晏宏(福岡県宗像市) むなかた市民学習ネットワーク 副会長

「コーヒー一杯で学習を」を合言葉に、市民が身近な場所を利用して、自分たちのやりたい学習を自らが指導者となって相互に学習できる場。「知っている人が知らない人に」「できない人ができる人から」相互に教え合い、学び合うことによって、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学べる場所を作ること」を目指して、有志指導者と学習したい人をつなぐ事業。昭和59年に発足し、34年を迎えた。(1) 趣味・おけいごと (2) 家庭生活・日常生活 (3) スポーツ・レクリエーション (4) 教養 (5) 伝承文化 の5つの領域で学習が展開されている。

3 学びの循環のある地域社会を目指して ～成人講座の充実～

12:00~12:30

串田 啓介(鹿児島県霧島市) 霧島市教育委員会社会教育グループ 主任主事 兼 社会教育主事

「ニューライフカレッジ霧島」は、「若者につなぐ地域の活力」(平成29年度)等、毎年テーマを設定し、南九州地域を中心に地域遺産を掘り起こしながら学び、未来に繋いでいこうとする地域学の講座。講師には、大学教員等のほか、ユニークな取組を行っている市民(例:農園主、歌手、外国人等)を招き、専門的な講座を提供している。また、運営を、地元の大学及び高専と連携して行っている。

「霧島アカデミー」は、地域おこしに関連したNPO、市民グループと連携して実施。毎回、「茶べり場タイム」(講師や受講生、地域の方々との交流タイム)を設け、参加者の交流を大切にしながら、霧島のこれからを考えていく場となっている。



第4会場●4F 大研修室

■司 会／島田 浩一 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事
眞鍋 幸一 愛媛県 国立大洲青少年交流の家 所長

分科会の進め方

10:45~10:50

1 歩く人を歓迎するまちづくり ～熊本県美里町から発信するフットパス～

10:50~11:20

濱田 孝正(熊本県美里町) 美里フットパス協会 事務局長

フットパスとは、古い町並み・田園地帯・森林など、地域に昔からある風景を楽しみながら歩くことができる小道(Path)のこと。イギリスが発祥とされる。(※)2011年からフットパスの活動に取り組む。合同会社フットパス研究所を立ち上げ、地域を歩き、道を探し、地域が一番美しく見えるルートを選定し、コースにする。自立した運営を信条として運営のための補助金は受けていない。常勤者は3名。美里町を起点にして熊本県内で約30の地域で取り組みが始まっている。副次効果として町内の飲食店や温泉、商店への立ち寄りが増えている。今後は確かな情報発信や相談窓口としての機能を強化したい。(※)出典：知恵蔵mini

2 少子化時代でも運動会開催を可能にする学校と地域の連携

11:25~11:55

村岡 健(鳥取県三朝町) 小鹿地域協議会 体育部事務局

少子化が進む現代において、人口の少ない地区では運動会の開催が困難な状況にある。本事例は、鳥取県三朝町において、従来から学校(三朝町立東小学校)と地域(小鹿地域協議会・三徳地域協議会)が連携して共同開催している運動会についての報告である。全校児童の少ない学校や世帯数の少ない地域でも、学校と地域の連携によって効果的な運動会の参加が可能である。

3 地域をつなぐ「BGレンジャー」(青少年育成支援事業)

12:00~12:30

黒葛原 緑(福岡県筑紫野市) 筑紫野市教育委員会生涯学習課 生涯学習推進青少年担当

地域の様々な課題のひとつである「自分たちのふるさとを創っていく青少年をどう育てていくのか」「青少年に必要な体験は」などの解決に向け、地域の人が集まり考え、公民館を拠点に展開される、体験活動を中心とした、継続的な取組への支援策である。青少年の課題解決を図る事業を公募、社会教育委員の会にて審査・決定を行い、年間3団体を選出、3年間の事業補助を行っている。事業をとおして、子どもの主体性・自主性を育み、「地域の教育力」の向上を目的に、地域と行政の密接な関係基盤づくりをめざしている。

※「BGレンジャー」とは、ボーイズ・アンド・ガールズチャレンジャーの略称。



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／川上 壮 島根県飯南町教育委員会 派遣社会教育主事
安達美和子 大分県「協育」アドバイザーネット 事務局長

分科会の進め方

13:30～13:35

1 講座から生まれた「サンコアマルシェ」 ～子育て世代の方々が集う取組を通して～

13:35～14:05

水落 龍彦(福岡県筑後市) 筑後市中央公民館 元館長
小川 美弥(福岡県筑後市) 筑後市教育委員会社会教育課 主事

平成23年、公民館の事業である「好きなこと・得意なことを仕事にしよう！」がコンセプトである「おうち起業応援セミナー」から始まった「サンコアマルシェ」。「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも 学べるまちづくり」を目指して、日頃なかなか公民館に来館することの少ない若い世代の女性を、セミナーに受講生として呼び込み、起業家としてマルシェ(商店)の出店者に育て、新たに人が集う「サンコアマルシェ」を進めていくという取組。また、公民館と行政(商工観光課など)、青年会議所、民間企業など、外部機関と積極的に連携を図っている。

2 講座の成果を市政に活かす ～「協働による那覇のまちづくり憲章(案)」と市民の実践力～

14:10～14:40

饒波 正博(沖縄県那覇市) なは市民協議会 代表

平成21年度の「なはのまちを考える実践講座」に参加した市民は、1年をかけた学習の成果物として、まちと市民の「協働による那覇のまちづくり憲章(案)」(以下、「ルール案」)を作成した。ところが講座終了後、この「ルール案」が市政に反映される道筋はなかった。そこで、講座参加者と市職員有志は、市のイベントの企画・運営に積極的に参加、講座の報告書の配布、「ルール案」の横断幕掲示などの活動を継続し、平成27年4月、ついに那覇市は「ルール案」を公式なものとして発表するに至った。

ティータイム

14:40～15:05

3 夏祭り復活から地域活性化までの道のり ～We love MATSUO～

15:05～15:35

甲斐 裕崇(宮城県椎葉村) 椎葉村青年団連絡協議会 松尾青年会 会長

椎葉村青年団連絡協議会53名のうち松尾地区会員は7名。台風災害と少子高齢化により夏祭りは10数年前に途絶えていたが、子どもたちの笑顔を見たい、松尾の良さをいろんな人にアピールしたいと、2年前から祭りの復活に取り組んだ。青年会とOB、公民館、平家大イチョウ太鼓が実行委員会を組織、婦人部、小学校PTA、建設会社が協力し、子どもからお年寄りまでが楽しめる祭りを創り上げた。祭りの成功が自分達の自信になり、普段は出会わない人達が集まることで地域の絆が深まった。

4 「まちづくり・いきいき成器の会」を掲げた住民総力の「じげ(地域)おこし」の展開 ～地区全体で取り組む「殿ダムウォーキング大会」の成功手法を中心に～

15:40～16:10

福田 悦子(鳥取県鳥取市) まちづくり・いきいき成器の会／鳥取市立成器地区公民館 館長

成器地区は「まちづくり・いきいき成器の会」を掲げ、住民総力による「じげ(地域)おこし」を展開。平成23年11月「殿ダム」完成に伴い、平成24年から「殿ダムウォーキング大会」を企画実施。特色は、地区自治会長、成器地区公民館、まちづくり・いきいき成器の会、PTAと連携して地区住民全体による「じげ(地域)おこし」である。大会での工夫は、記念バッジの配布、地元住民の「おもてなし隊」による豚汁とおにぎりの提供、地元産の新米、白ネギ、大根、コンニャクなどの特産品の抽選会と販売。その他、地区住民による保育園の運営、いきいき成器太鼓、地区運動会等も展開。「じげ(地域)おこし」の成功のポイントは住民総力の取組にある。



第2会場●2F 自由研修室

■司 会／豊田 浩司 益田市教育委員会社会教育課 主任主事
上野 敦子 山口市井関にここクラブ 主任支援員

分科会の進め方

13:30~13:35

1

県内に「うちどく(家読)」を広め隊!
～県域ネットワークにつながる教育行政と図書館の協働による成果～

13:35~14:05

末次 健太郎(佐賀県伊万里市) 伊万里市民図書館 うちどく推進室 係長

平成25年に、うちどく(家読)をはじめ、家庭での読書活動や読み聞かせを実践している有志で「佐賀うちどくネットワーク」を発足、12月に伊万里市で九州大会を開催した。以後、県内にうちどく(家読)を広めるために、県内の各市持ち回りで毎年1回「佐賀うちどくフェスティバル」を開催。ネットワークの目的に賛同したメンバーと各市教育委員会、図書館職員のプロジェクトチームが「子どもゆめ基金」を活用して協働で運営、ネットワークの事務局を伊万里市民図書館に置いている。フェスティバルには毎回200名を超える参加者がある。

2

笑顔広がる「大内コドモジカン」
～自治会とまちづくり協議会の連携による子ども体験活動支援～

14:10~14:40

佐伯 玲子(山口県山口市) 大内まちづくり協議会 文化教養部員

自治会単位での長期休業中の子どもの宿題支援や工作(竹細工、けん玉等)他体験学習支援。指導者は地域の大人やボランティアの講師である。大内まちづくり協議会が経費に対する補助金と企画・運営方法等に対する支援をし、平成28年3月から山口市大内地区で開始された。市民活動センター「さぼらんて」からの活動支援も受けている。注目は①地域のボランティアを活用し、その豊かな知識・経験を生かせる場になっている。②地域のボランティア人材を育成し、子どもの支援を通して、地域住民のいきがいや達成感を共有している。③地域の子どもと住民の絆を深める場となっている。

ティータイム

14:40~15:05

3

「かいじゅうネット」で笑顔と輝きを!
～海田住民活動ネットワークの活動から～

15:05~15:35

神田 一之(広島県海田町) 海田住民活動ネットワーク 代表
石橋 京子(広島県海田町) 海田さつまの会 会員

知事の海田町訪問による海田の魅力発表をきっかけとして、平成24年2月に会発足。まちづくりを行う団体などが繋がり合うことで、互いに助け合いながら環境づくりや相互連携して「住んで良かった、住み続けたい、住んでみたい」と思われるまちの実現を目指している。具体的活動は、県道清掃、輝くまちづくり講習会、海田市祭り等である。注目は①まちづくり関連の17団体との連携・協働、まちづくり情報の共有と発信、②海田町との合同事業(行政との連携の在り方)、③自主事業の実施手法、④助成金の獲得や自主運営費の確保等である。特に、誇りある「まちづくり」の形成過程に注目して参加・交流がポイント。

4

「カタリ場」を活用した「ライフキャリア教育」の可能性
～中学生から大人までの益田市民が本音の対話～

15:40~16:10

檜垣 賢一(島根県益田市) 益田市教育委員会ライフキャリア教育コーディネーター

平成28年の市の「ひとづくり協働構想」の一環である「ライフキャリア教育」の象徴的なプログラムが益田版「カタリ場」である。主催は益田市教育委員会と、「認定NPO法人カタリバ」の常駐職員との協働で企画・運営している。活動は、基本的には学校の授業の中で、人生経験豊かな地域の大人と学校に通う子どもたちが本音の対話形式で実施される。その目的は、「どんな環境でも日々を前向きに生き抜く力の涵養」と「将来益田を選ぶ種蒔き」であり、キャリア教育とふるさと教育の融合である。平成30年度は、市内の全小中高校の30校での実施が予定されている。「カタリ場」実践者による広がりも見えてきた。



第3会場●4F 視聴覚室

■司 会／吉岡 康行 広島県教育委員会事務局教育部生涯学習課 社会教育監
久保田啓子 山口県長門市教育委員会 社会教育指導員

分科会の進め方

13:30~13:35

1 中高生の!幸雲南塾 ～中高生をターゲットにしたキャリア教育の取組～

13:35~14:05

青木 拓夫(島根県雲南市) 雲南市教育委員会社会教育課キャリア教育推進室 派遣社会教育主事

「中高生の!幸雲南塾」は中高生が視野を広げるために必要な力(課題発見能力、課題解決能力、想像力)を育む「自立した社会性のある大人への成長を目指す人材育成塾」である。市内外で活躍する大学生や社会人と一緒に、学習支援や将来の選択肢を広げ、深める学習など、中高生が大人になるときにふるさと雲南を意識し、ふるさとを愛し、そこで自分の挑戦したいことを見つけ、仲間とともに挑戦しようとする人材を育てている。中高生の学年・学校を超えた新しい環境での学び合いの場になっている。

2 高校生による海・山で暮らす匠への「聞き書き」 ～海と山をつなぐ～

14:10~14:40

森光 康恵(岡山県総社市) 備中「聞き書き」実行委員会 事務局

人生の生き方や働き方、その中で培ってきた知恵や技術、未来への願い等を丸ごと「聞き書き」する事業。地域づくりと未来を担う若者の人材育成活動として平成22年度笠岡市市民提案型協働事業としてスタート。平成23～26年度は岡山県備中県民局協働提案事業に採択。地域で暮らす匠(人生の先輩)の人生を記録する中から、高校生・大学生は多くの価値を学んでいる。平成28・29年度海洋教育パイオニアスクールプログラムに採択され、県内高校生・大学生有志による広域実施になった。

ティータイム

14:40~15:05

3 古民家を活かした「喜久家」プロジェクト ～世界の若者たちとの郷づくり～

15:05~15:35

浅野 長武(愛媛県伊方町) 喜久家プロジェクト 副代表

平成19年2月スタート。当初人口45人の限界集落の人口減少の歯止めと持続可能な郷づくりを目指した。集落の有志と「古民家」と「喜久屋プロジェクト」とした。国内外から若者ボランティアを受け入れ、一緒に郷づくりを始めて11年になる。世界22カ国の若者たちと協働。農作業、耕作放棄地の再生、地域行事への参加、クリーン運動、異文化交流、学校訪問、農業体験受け入れ、ひきこもり青少年の自立支援等々の実践を展開。外国若者118人、日本106人、日帰り者延べ約360人等が参加している。

注目成果：①交流人口・関係人口の増加で地域が活性化して来た。②Uターンや農業後継者があり人口に歯止めがかかっている。③郷に誇りが芽生えている。

4 「子ども中心の地域づくり」 ～みんなが主役のまちづくり～

15:40~16:10

柴田 正行(福岡県篠栗町) 篠栗小校区づくり実行委員会 実行委員長

社会教育主導による学社連携事業「校区別地域づくり」が進められて10年。町内には3つの小学校校区があり、校区ごとに「校区づくり協議会」が発足し、学校選出を除く9人の社会教育委員が3校区に分かれて実行委員会に入っている。各校区ではそれぞれに地域に沿った部会をつくり、活動を通して子どもの育成を中心に据えた校区づくりを行っている。これらの取組から、校区づくりでは「『住み続けたいまちづくり』への夢や願いを持っている人たちが顕在化された。」「学校支援団体や他の地域の方との相互協力が充実し、横断的なネットワーク(輪)ができた。」という成果をあげている。



第4会場●4F 大研修室

■司 会／伊藤 正統 山口県美祢市立豊田前小学校 教務主任
古川 裕子 北九州市若松区花房地区まちづくり協議会 会長

分科会の進め方

13:30~13:35

1 震災体験後の熊本市「秋津公民館」の「地域づくり」への取組 ～拠点避難所から得た、防災教育の核となる「つながり」への工夫～

13:35~14:05

宮尾 有(熊本県熊本市) 花園公民館 社会教育主事

平成28年4月の熊本地震以後、秋津公民館は拠点避難所となった。8月には避難所は閉鎖されたが、避難所運営を通して「人と人をつなぐ」防災教育、学校やNPO等の関係機関との連携の在り方、避難民の健康への啓発等々の重要性を痛感した。そこで、公民館・まちづくりセンター・ボランティア団体等と連携して、地域に住む人々の防災意識、人と人との「つながり」の大切さへの意識改革、健康への意識を高めることを目的に、講座・行事に取り組んでいる。何処の機関・団体と、どのような形態で連携・協働したか。どのような内容を講座のプログラムに導入したか、その工夫と成果、今後の課題解決が注目。

2 学生NPOと町教委との協働による教育支援活動と地域活力の創出

14:10~14:40

大西 浩正(徳島県牟岐町) NPO法人牟岐キャリアサポート 理事長
高野 風人(徳島県牟岐町) NPO法人ひとつむぎ 副理事長

平成26年に牟岐町で開催された国際系サマースクールの運営スタッフだった大学生が、恩返しの気持ちから地元中学生の「社会人基礎力」育成などの教育支援活動に着手、平成27年2月に大学生主体のNPO法人を設立した。将来を見据えた人材の循環と活動に参加する関係人口を取り込むことで、地域の活力維持を目指す。町主導で設置した中間支援NPO、町教委、学校、地域との連携協働体制ができた。ここで育った子どもが高校進学後も学生NPOの活動に参加する等、人材の循環も始まっている。

ティータイム

14:40~15:05

3 災害に対処する力の育成と避難時支援のための協働の仕組みづくり

15:05~15:35

川村 正人(大分県大分市) NPO法人 大分県防災活動支援センター 主任研究員

市役所や自治会等関係者と連携しながら、県内で減災と地域防災力向上に関する啓発を行い、緊急支援活動にも寄与するNPOで、平成27・28年度には県の「地域を担うNPO協働モデル事業」に採択された。地震や豪雨災害を想定し、危険を予測しながら地域のハザードマップを作成、対処法をグループで話し合うなど住民の学習会、ワークショップ等を進めながら災害時に対応できる仕組みを構築、検証している。実施の過程で避難所を見直したり、安否確認カードを作成したりする等の成果も出ている。

4 コミュニティ・スクールに関係していく公民館 ～公民館を核に取り組む地域学校協働活動と地域づくり～

15:40~16:10

和西 禎行(山口県山陽小野田市) 山陽小野田市企画部企画政策課 課長
柿並 健吾(山口県山陽小野田市) 山陽小野田市教育委員会 中央公民館 係長

平成28年度の市内全・小中学校のコミュニティ・スクールの移行に合わせて、公民館長を“学社融合”の第2コーディネーターとして位置づけ、「学校づくり」「地域づくり」の両面を見据えた取り組みが全市的に進んでいる。公民館同好会サークルの授業支援、小学校で実施する公民館講座、公民館・小学校合同学習発表会といった多様な事業が、公民館のコーディネートで始まっている。

1st day
5.19 Sat.

第37回大会 特別報告

■時 間／ 16:30 ～17:00 ■会 場／ 2F 講堂

テーマ●老いてひとりを生き抜く
—暮らしに負けず、自分に負けず、世間に負けず—

報告者 三浦清一郎

2nd day
5.20 Sun.

第37回大会 特別企画 「男女共同参画時代の子どもの発達支援」

■時 間／ 9:00 ～11:30 ■会 場／ 2F 講堂

第1部：9:00～10:10

〈インタビュー・ダイアログ〉

「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性

登壇者：飯塚市長

元飯塚市教育委員会教育長

聞き手：生涯学習通信「風の便り」編集長

片峯 誠

森本 精造

三浦清一郎

＜登壇者プロフィール＞



●片峯 誠 飯塚市長

中学校長、飯塚市教育委員会学校教育課長を経て、平成22年5月から飯塚市教育委員会教育長、平成29年2月から飯塚市長。教育長在任中は、小中一貫教育やコミュニティースクールの推進。MIM、徹底反復学習、ITの活用、プログラミング教育等による学力向上への取組。また、全国に先駆け、オンライン英会話システムを導入し、さらに福祉行政の「学童保育」を「学校教育課」主管に変更する。市長就任後も「教育のまちづくり」を市政の重要施策に掲げ奮闘中である。



●森本 精造 元飯塚市教育委員会教育長 サンビレッジ茜理事長

福岡県社会教育課長、福岡県立社会教育総合センター所長、穂波町教育委員会教育長、飯塚市教育委員会教育長を歴任。穂波町時代、全公立小学校に「子どもマナビ塾」、「熟年者マナビ塾」を導入し、飯塚市では「いいづか市民マナビネットワーク」(e-マナビ)など多くの先駆的行政施策の開発を手掛けてきた。退職後は「学童と学校の連携」(学社連携)に奔走。前本交流会代表世話人。

＜聞き手＞



●三浦清一郎 生涯学習通信「風の便り」編集長

国立社会教育研修所、文部省、福岡教育大学、シラキューズ大学、九州女子大学などを経て、現在月刊生涯学習通信「風の便り」編集長。晩年は執筆に集中し、近著に、「明日の学童保育」(日本地域社会研究所)、「国際結婚の社会学」(同)、「詩歌自分史のすすめ」(同)、「消滅自治体は都会の子が救う」(同)「隠居文化と戦え」(同)などがある。

第2部：10：20～11：30

〈インタビュー・ダイアログ〉 「通学合宿」の30年を振り返る

登壇者：飯塚市庄内生活体験学校館長

聞き手：九州共立大学名誉教授 交流会代表世話人
九州女子大学教授

正平 辰男
古市 勝也
大島 まな

〈登壇者プロフィール〉



●正平 辰男 飯塚市庄内生活体験学校館長

福岡県教育庁社会教育課主幹社会教育主事などを歴任。平成15年より東和大学、純真短期大学特任教授、平成29年3月退職。昭和58年より「通学キャンプ」に取り組む。平成元年より6泊7日の通学合宿に取り組む。平成27年度よりNPO法人ドングリが飯塚市庄内生活体験学校の指定管理者となり館長に就任。著書に、「子ども
の育ちと生活体験の輝き」「生活体験学習入門」(ともに共著)などがある。

〈聞き手〉



●古市 勝也 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会代表世話人

九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学スポーツ学部教授、九州共立大学地域連携推進室長を経て、九州共立大学名誉教授、日本生涯教育学会生涯学習実践研究所福岡センター長、「西日本『生涯学習御学友』ネットワーク」世話人代表、第34回から交流会代表世話人を務める。



●大島 まな 九州女子大学教授 人間科学部長

九州大学教育学部社会教育講座、九州女子短期大学等を経て現職。福岡県社会教育委員。庄内町で長期通学キャンプが始まった同時期に、福教大三浦研究室主催の青少年教育キャンプにスタッフとして参加。子どもを鍛え「欠損体験」を補完する教育プログラムに関心を持ち続けてきた。共著に『明日の学童保育』、『社会教育の核心』など。

第36回大会開催報告

●大会期日 平成29年5月20日(土)～21日(日)

●場 所 福岡県立社会教育総合センター

実践研究発表者
司会者及び
県別参加者

中 国 地 区			
県 名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
山 口	3	0	17
広 島	1	1	52
島 根	3	2	20
鳥 取	3	0	19
岡 山	1	1	4
計	11	4	112

九 州 地 区			
県 名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
福 岡	5	4	151
佐 賀	2	1	28
熊 本	3	2	11
大 分	1	0	21
宮 崎	1	0	14
長 崎	2	2	22
鹿 児 島	2	2	9
沖 縄	1	0	1
計	17	11	257

四 国 地 区			
県 名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
徳 島	1	0	4
愛 媛	1	1	4
高 知	1	0	0
香 川	0	0	0
計	3	1	8

中国・四国・九州地区以外			
県 名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
東 京	0	0	6
大 阪	0	0	5
愛 知	0	0	0
静 岡	0	0	1
茨 城	0	0	0
兵 庫	0	0	0
千 葉	0	0	1
計	0	0	13

	発表者数	司会者数	参加者数	実行委・登壇者数	総参加者数
総 計	31	16	390	31	437

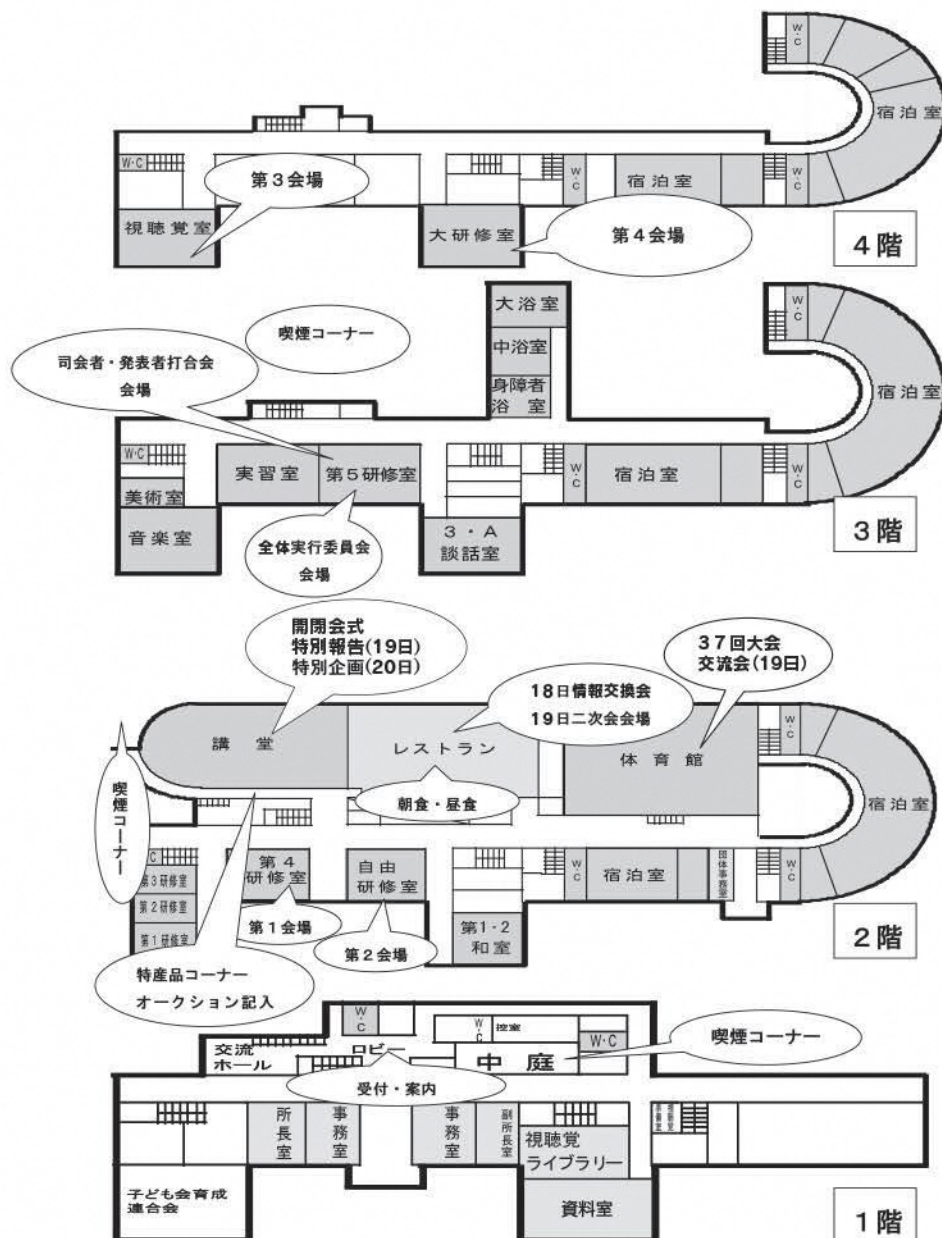
特産品、稀少品ありがとうございました
第36回大会も皆様のご協力により、
たくさんの特産品が集まりました。ありがとうございました。

番号	氏名・団体名(様)	県名	所属名	特産品名
1	清崎 博志	高 知 県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	高校三年生の山田まん10個
2	田中 聡	鹿 児 島 県	鹿屋市高須町	さつま大海
3	田中 聡	鹿 児 島 県	鹿屋市高須町	小鹿
4	武内 猛	広 島 県		おと姫トマトドライ(3袋入:3セット)
5	杉原 潔	広 島 県		瀬戸内レモンケーキ 島ごころ
6	赤田 博夫	山 口 県	山口VOLOVOLOの会	けずりかまぼこ(5袋)
7	柿本 和彦	広 島 県	NPOおのみち寺子屋理事長	因島杜仲茶 健康日本茶(6包×10個5セット)
8	山口 由希	鳥 取 県	日吉津村	黄金のポリボロネーゼ 島根県産米粉使用
9	山口 由希	鳥 取 県	日吉津村	皆生温泉 塩生せんべい
10	篠原 茂	愛 媛 県	泉川公民館	焼酎
11	田中 崇詞	鳥 取 県	米子市	大山(だいぜん)そば
12	田中 崇詞	鳥 取 県	米子市	山陰銘菓 大風呂敷
13	田中 崇詞	鳥 取 県	米子市	グググの鬼太郎 お菓子セット
14	大西 学	鳥 取 県	米子市教育委員会	ネギマン グッズ
15	大下 真史	鳥 取 県	南部町教育委員会	鳥取発!超限定「社会教育の底力」ポロシャツ3枚
16	竹本 夏樹	鳥 取 県	境港市教育委員会	境港市 クリアファイル、メモ帳5セット
17	森本 精造	福 岡 県	一般財団法人サンビレッジ茜	大村ファーム いいたま(2パック):5セット
18	大下 真史	鳥 取 県	南部町教育委員会	板 祐生 記念グッズ(手ぬぐい、一筆箋)
19	古市 勝也	福 岡 県	九州共立大学	焼酎 小松帯刀
20	古市 勝也	福 岡 県	九州共立大学	長沢ワイン
21	三浦 清一郎	福 岡 県		ポルドーワイン
22	片川 久美子	山 口 県	周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会	野菜ジャムセット
23	香月 利都子	福 岡 県	事務局	北九州若松特産トレッシング3本
24	武次 寛	長 崎 県	社会教育支援 草社の会	焼酎 磨き大島(いも)
25	坂本 貢一、岸本 隆治	鳥 取 県	教育委員会社会教育課	梨のお酒
26	松本 英俊	長 崎 県		日本酒 おろくにんさま
27	竹添 辰也	鹿 児 島 県	鹿児島市教育委員会生涯学習課	伊集院まんじゅう
28	山本 圭介	長 崎 県	生涯学習課	あごだしめんつゆ、かんころもちセット
29	長谷部 弘海	大 分 県	日田市	日本酒 笑門八郎
30	原 洋	長 崎 県	教育庁生涯学習課	日本酒 風紋 白嶽
31	東川 絵葉	岡 山 県	生涯学習課	岡山ティーセット
32	椋本 博志	長 崎 県	教育庁生涯学習課	波佐見焼&長崎茶葉セット
33	福原 洋子	岡 山 県	教育庁義務教育課	かきのアヒージョ
34	北富 真治	福 岡 県	筑豊教育事務所	日本酒 寒北斗
35	矢括 尚義	宮 崎 県		焼酎 日向木挽ブルー&地鶏炭火焼セット
36	榎園 成人	鹿 児 島 県	始良市教育委員会	西郷珍々豆
37	教育庁社会教育課	福 岡 県		出羽桜 雪漫々 五年氷点下熟成酒
38	鶴本 孝夫	鹿 児 島 県	始良市教育委員会	焼酎 小松帯刀
39	榎園 成人	鹿 児 島 県	始良市教育委員会	文旦漬
40	榎園 成人	鹿 児 島 県	始良市教育委員会	湯之元せんべい

番号	氏名・団体名(様)	県名	所属名	特産品名
41	眞鍋 幸一、今井 博志、佐川 良	愛 媛 県	愛媛のおやし戸端会議	日本酒 梅錦 夢人
42	北筑後教育事務所 社会教育室	福 岡 県		久留米 大砲ラーメン
43	大島 まな	福 岡 県	九州女子大学	ぶくおか ごはんセット
44	教育庁社会教育課	福 岡 県		めんべい ねぎ
45	教育庁社会教育課	福 岡 県		めんべい 辛口
46	入江 雅史	鳥 取 県	大山町教育委員会	ナガタソダチのコシヒカリ3kg・2セット
47	船越 路央	鳥 取 県	西部教育局	鳥取特産しとろたカレーセット
48	原 敦代	鳥 取 県	荒木コミュニティセンター	出雲の板わかめ
49	藤田 弘志	鳥 取 県	琴浦町あかさき	天然板わかめ・5セット
50	関 弘紹	佐 賀 県	まなび課	焼酎グラス 有田焼
51	松村 早紀子	佐 賀 県	佐賀市立衛誘公民館	かばいばあちゃん 有明のりセット
52	前田 美友紀	鳥 取 県	北米町生涯学習課	名探偵コナン ミルクサブレとすいか玉キャンディーセット
53	吉岡 康行	広 島 県	国立田江島青少年交流の家	カーブトートバック
54	廿日市 大野子ども体験活動ボランティア活動支援センター	広 島 県		元祖もみじまんじゅう2セット
55	鈴木 眞理	静 岡 県	青山学院大学	青山学院駅伝セット
56	佐藤 倫子	熊 本 県	生涯学習推進センター	熊本名物“アベックラーメン”
57	嶋田 浩一	熊 本 県	生涯学習推進センター	知る人ぞ知る!南関あげ
58	吉川 良二	熊 本 県	熊本県 生涯学習推進センター	くまモンの熊本観光タオル
59	野崎 公伸、横山 真理子	熊 本 県	生涯学習推進センター	くまモンバッグ&お菓子詰め合わせ
60	榎本、金澤、後藤	宮 崎 県	北部教育事務所	宮崎チキン南蛮・3セット
61	長田 大輔	大 分 県	臼杵市教育委員会	焼酎 ほろびっぽ
62	石坂 ひとみ	沖 縄 県		おきなわ 浦添桑葉撰
63	大城 喜江子	沖 縄 県	まちづくりNPOうらそえ	スクガラスセット
64	石坂 ひとみ	沖 縄 県		沖縄 なんでんしー(リキュール)
65	谷本 理佐	福 岡 県	教育庁社会教育課	博多通りもん
66	谷本 理佐	福 岡 県	教育庁社会教育課	めんべい 焼きカレー風味
67	谷本 理佐	福 岡 県	教育庁社会教育課	博多ばいおう
68	森山 由貴	島 根 県	荒木コミュニティセンター	山陰名産 来間生麦糖本舗のひとくち糖 三色セット
69	石原 利恵	島 根 県	荒木コミュニティセンター	出雲ぜんざい&出雲(大社の)板わかめセット
70	広島県立生涯学習センター 御一同	広 島 県		廣島大海喫セット
71	菅 雄二	長 崎 県	南島原市教育委員会生涯学習課	そうめん
72	森脇 竜一	広 島 県	広島女学院大学	カーブ商品詰め合わせ・2セット
73	本村 由紀博	熊 本 県	教育庁教育総務局社会教育課	熊本球磨の純米焼酎 川辺
74	三角 幸三	熊 本 県	宇城市教育委員会	純米酒 熊本城
75	河本 潤	岡 山 県	岡山県立図書館	ひるぜん焼きそば〜B級グルメグランプリ〜
76	大下 修一	鳥 取 県	青少年育成伯耆町民会議	きぬむすめ 1等米3kg
77	大下 修一	鳥 取 県	青少年育成伯耆町民会議	松葉カニせんべい
78	原 昌作	東 京 都	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	栃木県佐野市の日本最古の江戸酵母仕込み 田中正造「百年の夢」&厄除けナベゴマ
79	郡谷 寿英	東 京 都	社会教育実践研究センター	パンダクッキー・3種
80	國府田 大	東 京 都	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	百年梅酒(茨城県水戸市)
81	松田 愛子	広 島 県	広島県教育委員会生涯学習課	広島竹原の銘酒 誠鏡
82	白井 淳子	栃 木 県	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	餃子煎餅
83	中村 淳子	長 崎 県	南島原市生涯学習課	ボエムケモトの黒柿・4セット
84	水上 真悟	島 根 県	吉賀町教育委員会	グラノーラ 雑穀豆ごはんの素セット
85	紫園 来未	佐 賀 県	オフィスしおん	めんべい2セット
86	岡田 正彦	大 分 県	大分大学	鷹来屋 雄町純米吟醸 山鹿
87	西村 信彦	鳥 取 県	鳥取県教育委員会	鳥取カレーせんべい&紅ずわいがにチップ
88	松尾 修	長 崎 県	長崎県社会教育支援草社の会	あま酒
89	小畑 たるみ	大 分 県	NPO法人こどもサポートにっこにこ	あま酒&手焼きせんべいセット・3セット
90	仲 正恵	大 分 県	杵築市教育委員会杵築中央公民館	純米吟醸 ちびびしん
91	府中町 家庭教育支援チーム「くすのき」	広 島 県		カーブかつ
92	松尾 修	長 崎 県	長崎県社会教育支援草社の会	吟酎
93	渡辺 いづみ	福 岡 県	平野市民センター	博多山笠「永しぶき」
94	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」	広 島 県		カーブバック
95	中村 由利江	広 島 県	夢講座	カーブコラボ食品
96	隈元 修一、野辺 紘一郎、佐藤 健一郎	宮 崎 県		梅っチャが2セット
97	上野 敦子	山 口 県	井関にここクラブ	おかき2/パック・4セット
98	泉山 良一	島 根 県	頓原公民館	赤名酒造 日本酒セット
99	田島 正子	長 崎 県	県教育庁生涯学習課	スーパーゴールド巻枝
100	田島 正子	長 崎 県	県教育庁生涯学習課	金蝶ノース
101	佐原 啓仁	千 葉 県	日本教育新聞社	銚子電鉄ぬれ煎餅
102	石橋 京子	広 島 県	放課後子ども教室	サッカーボールミルク
103	木嶋 秋子	鳥 取 県	米子市教育委員会	トートバック(ぬりかべ)
104	藤井 裕也	岡 山 県	NPO法人山村エンタープライズ	三年番茶
105	中村 和央	山 口 県	山口ボロボロの会	羽衣もなか
106	山崎 順子	島 根 県	出雲市産業コミュニティセンター	コミセンカフェ ハナミズキコーヒー:10セット
107	井手 文雄	熊 本 県	益城町 広安西小学校	熊本にようこそ クッキー
108	広富 隆史	鳥 取 県	東部教育局	白ウサギフィナンシェ&砂丘らっきょう
109	今西 幸蔵	大 阪 府	神戸学院大学	あわおこし
110	北浦 博美	大 阪 府	神戸学院大学	赤福
111	中島 公洋	熊 本 県	社会教育課	焼酎&くまモンネクタイセット
112	田島 正子	長 崎 県	県教育庁生涯学習課	焼酎 巻枝スーパーゴールド
113	近藤 真紀	福 岡 県	香春町立勾金小学校	筑豊物語 ぼたやま
114	菊川 律子	福 岡 県	放送大学福岡学習センター	八女の新茶(八十八夜つみ)2袋
115	柴田 優爾、中司 俊生	山 口 県	防府しあわせマルシェ	山口の酒 ダッサイ
116	三浦 清一郎	福 岡 県		ボルドーワイン
117	福岡教育事務所 社会教育室	福 岡 県		清酒「沖ノ島」3本
118	廣田 隆男	山 口 県	長門市油谷の文化を高める会	日本酒 東洋美人
119	中蘭 宏	福 岡 県	県立図書館	筑紫もち
120	福本 将太	福 岡 県	志免中央小学校	グロモント30本
121	東 良	福 岡 県	南筑後教育事務所	ワイン4本
122	筑豊教育事務所 社会教育室	福 岡 県		ビール
123	大谷 俊浩	福 岡 県	教育庁社会教育課	博多まっかなあまおう
124	今田 義雄	福 岡 県	公益財団法人 福岡県スポーツ振興センター	アイスクリーム
125	北富 美治	福 岡 県	筑豊教育事務所	寒北斗
126	中野 久美	福 岡 県	福岡県人権啓発情報センター	ラスク

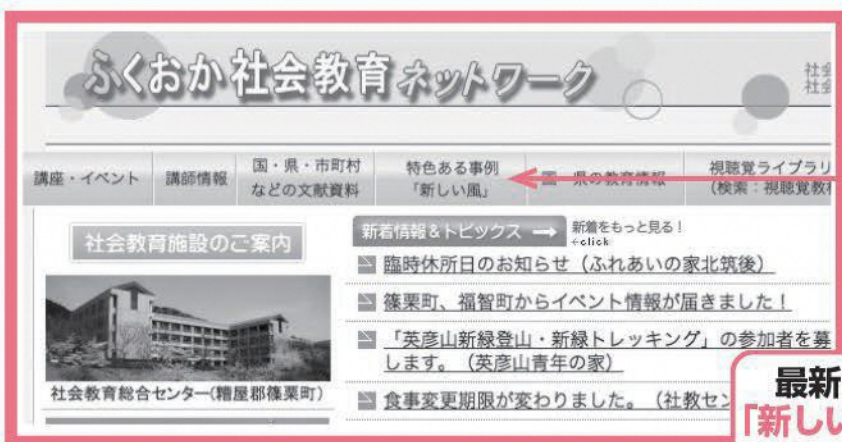
なお、紙面の都合上、敬称と職名は省略させて頂きました。万一、誤字や脱字、または、記入漏れがありましたときは、御容赦下さいますようお願いいたします。

会場案内図



「ふくおか社会教育ネットワーク」

にて本大会の発表事例は、掲載されます！



その他、福岡県内の社会教育に関するイベント・施設・HPリンクが見られる充実したホームページです。

ホームページアドレス

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp>

ぜひ一度ご覧ください！

福岡県立社会教育総合センター

住所 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029